

👍 人と環境にやさしい和空間を!

建材畳床Ⅱ形

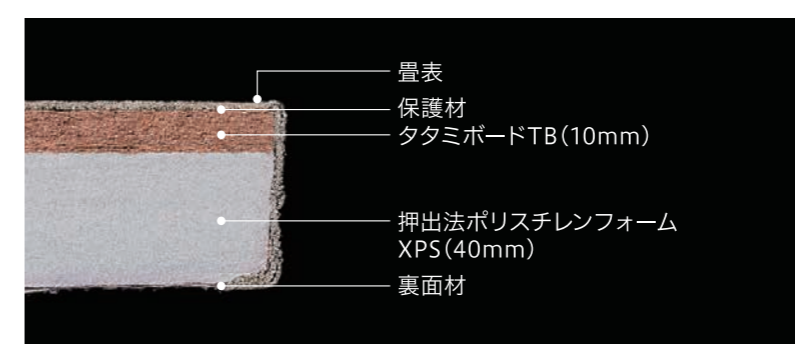
従来、畳の芯材として使われていた
稲わらの代わりに高断熱な
押出法ポリスチレンフォームを
芯材とした畳床の提案です。
とことん温かく、しかも軽い!
その実力を紹介します。



[建材畳床Ⅱ形]には
メリットがいっぱいです!



住宅の温かさを保つ畳床 建材畳床Ⅱ形



タタミボード及び/または押出法ポリスチレンフォーム断熱材を材料として製造した畳床を『建材畳床』と称されています。特に、この主な材料2層で構成したものを『建材畳床Ⅱ形(JIS製品記号:KT-II)』と称されて、断熱性能や軽量性にメリットのある畳床として、この建材畳床Ⅱ形で製作される畳については、大きな期待が寄せられています。

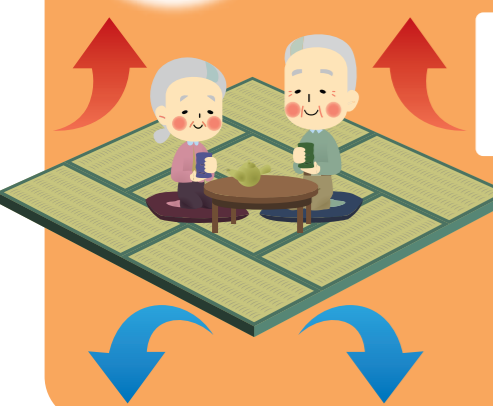
表 建材畳床Ⅱ形の物性規格の一例

		建材畳床	稲わら畳床	
区分・記号	単位	TK-II 91W	WR-S 92W	
寸法	mm	1,920×910×50	1,840×920×50	
畳床製品の規格値	材料構成			
	畳床一枚当たりの質量	kg	5.8(3.5kg/m ²)	28.8(17.0kg/m ²)
	熱抵抗値の表示	m ² ・K/W	1.06	0.71
	含水率	%	13以下	15以下*
	局部圧縮量	mm	4.0以下	5.0以下
引用JIS		JISA5914:2018	JISA5901:2018	

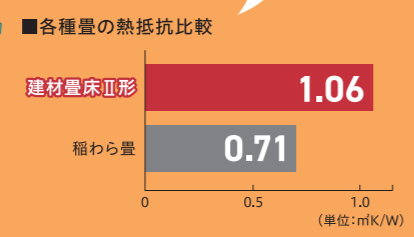
*使用されている稲わらの含水率

暖

断熱性が高いから暖かさが違う!
従来の畳床素材である稲わら畳床と熱に対する抵抗値を比較してみたところ、建材畳床Ⅱ形は1.5倍という優れた数値となります。寒い冬、畳自体が断熱材の建材畳床Ⅱ形を用いることで床面からの底冷えを解決し、家族の健康に貢献します。



断熱性は
なんと従来の
稲わら畳の
1.5倍!



※JISA5914:2018のKT-II,91W,厚さ50mmとJISA5901:2018のWR-S,厚さ50mmとの比較における数値。

軽

超軽量だから
運搬もラクラク!

従来の稲わら畳と比較した結果、重量はなんと約79%減※! 軽量なので急峻な狭小地にある住宅や集合住宅においても運搬の負担を軽減できます。また張り替え作業においても人への負担が少なく、効率的に作業ができるので作業負担軽減、労働安全にも貢献します。



デュポン・スタイロ株式会社
スタイロフォーム
<https://www.dupontstyro.co.jp/>

株式会社JSP
ストラフォーム
<https://www.co-jsp.co.jp/product/kentiku/>

株式会社カネカ
カネライトフォーム
<http://www2.kenzai.kaneka.co.jp>

押出発泡ポリスチレン工業会
〒105-0004 東京都港区新橋5-8-11 新橋エンタービル7階
TEL 03-5402-392 FAX 03-5402-6213
<https://www.epfa.jp>

一般的に押出発泡ポリスチレンフォームは、吸湿/吸水性が小さい断熱材と言われております。この断熱材を用いて製作される建材畳床Ⅱ形を用いた畳は、長期間の使用において吸湿/吸水性が小さいことによる物性の維持が期待されています。今後、水害等に対する住宅のダメージ軽減への新たな利用アイデア(施工技術)の創出も期待される所です。